

## 令和3年度 第1回米沢市SDGs推進協議会 次第

日時：令和3年7月6日（火）

午前10時30分～

会場：庁議室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 アドバイザー紹介
- 6 会長あいさつ及び副会長の指名
- 7 議事
  - (1) 会議等の公開について 資料1 ...P4
  - (2) SDGsの推進について 資料2 ...P5
  - (3) 米沢市SDGs推進協議会について 資料3 ...P9
  - (4) その他
- 8 閉 会

## 米沢市SDGs推進協議会 委員名簿

(五十音順)

No.	所 属 職 名	氏 名
1	米沢市ブランド戦略会議 委員	安 部 里 美
2	国立大学法人山形大学工学部 副学部長	伊 藤 浩 志
3	株式会社ニューメディア 取締役 米沢センター長	伊 藤 優 子
4	株式会社山形銀行米沢支店 支店長	五百川 満
5	米沢市 副市長	大河原 真 樹
6	山形県立米沢栄養大学 健康栄養学部学部長	大和田 浩 子
7	公益社団法人米沢青年会議所	川 野 敬太郎
8	社会福祉法人米沢市社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	菅 野 紀 生
9	一般社団法人米沢観光コンベンション協会 青年部会長	香 坂 洋 平
10	株式会社nitorito 取締役 デザイナー	斎 藤 美 綺
11	NECパーソナルコンピュータ株式会社	佐々木 恵
12	米沢市商工会議所 専務理事	柴 田 正 孝
13	米沢信用金庫 地域創生部 部長	須 藤 英 喜
14	置賜地区高等学校校長会 会長	曾 根 伸 之
15	米沢市小中学校校長会	田 畑 広 志
16	山形おきたま農業協同組合米沢支店 代表支店長	中 川 浩 一
17	米沢市男女共同参画推進委員会 委員長	中 澤 未美子
18	山形県置賜総合支庁 総務企画部総務課連携支援室長	吉 田 正 幸
19	米沢地方森林組合 事業課長	四 柳 徹 也

### アドバイザー

	所 属 職 名	氏 名
	ビジネス・ブレークスルー大学 経営学部グローバル経営学科長	谷 中 修 吾

### 事務局

	所 属 職 名	氏 名
	米沢市 企画調整部長	遠 藤 直 樹
	米沢市 企画調整部政策企画課長	伊 藤 昌 明
	米沢市 企画調整部政策企画課課長補佐兼未来都市推進室長	伊 藤 尊 史
	米沢市 企画調整部政策企画課企画調整主査	尾 崎 悠 樹
	米沢市 企画調整部政策企画課主任	佐 藤 航

## 谷中 修吾 氏 プロフィール

ビジネスプロデューサー／クリエイティブディレクター

BBT 大学 グローバル経営学科長・教授

BBT 大学大学院 MBA 教授ビジネスプロデューサー／クリエイティブディレクター／ビジネス教育者。静岡県湖西市出身。慶應義塾大学総合政策学部卒業、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修了。

東日本大震災の直後、スターバックス、キヤノン、松下政経塾の連携による復興支援プロジェクト「道のカフェ」を立ち上げ、総合プロデューサーとして東北でカフェづくりを通じたコミュニティ再生支援に従事。慶應義塾大学 SFC 研究所の上席訪問所員として地域情報化研究コンソーシアムに参画するとともに、BBT 大学（ビジネス・ブレイクスルー大学）の学部および大学院（MBA）において理論と実践に基づくソーシャルイノベーターの育成に従事。

地方創生プロデューサーとしての活動を本格化し、日本全国をフィールドに、地方創生まちづくりのビジネスデザインを数多く手がける。地方創生まちづくり EXPO「まちてん」を立ち上げ、初代実行委員長／総合プロデューサーとしてプラットフォームづくりを試行。国内最大級の地方創生イノベータープラットフォーム「INSPIRE」を立ち上げ、超絶まちづくりの集合知を社会にシェアする取組を展開。内閣府「地方創生カレッジ」講師を務め、受講者満足度 No.1 を獲得。環境省「グッドライフアワード」総合プロデューサー、東京都「東京ベイエリアビジョン」官民連携チームメンバーなどを歴任。世界 30 ヶ国を遍歴し、国内外の地域創生に専門知見を持つ。

谷中修吾氏公式 HP (<https://www.shugo-yanaka.com/>) から一部抜粋

## 会議等の公開について（案）

### 1 会議の公開について

- ・ 本市における他の審議会、検討委員会等については、特段の事情がない限り公開していることから、本協議会についても、これに準じ、原則として公開するものとします。
- ・ ただし、会議の一部または全部を非公開とする必要があると考えられる事案が出た場合は、改めて協議を行うものとします。
- ・ 会議を非公開とする場合は、その理由を公表するものとします。

### 2 会議録及び配布資料の公開について

- ・ 会議録は要点筆記とし、会長については会長と表記し、その他の委員については、委員と表記します。
- ・ 会議録及び配布資料（以下「会議録等」という。）は、協議会事務局での閲覧、米沢市ホームページへの掲載等の方法により原則公開するものとします。
- ・ ただし、会議録等の一部または全部を非公開とする必要があると考えられる事案が出た場合は、改めて協議を行うものとします。
- ・ 会議録等を非公開とする場合は、その理由を公表するものとします。

#### 参考 非公開とすることについて協議を行う場合の目安

- ・ 特定個人の権利利益を害するおそれがある場合
- ・ 率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合
- ・ 公開しないとの条件で任意に提供された資料等がある場合 等

## SDGsの推進について

### 1 SDGs (Sustainable Development Goals)について

SDGsは、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標」であり、2030年までを計画期間として、国際社会全体で取り組む17の目標(ゴール)を掲げています。

### 2 本市の取組について

#### (1) まちづくり総合計画後期基本計画

SDGsの理念は、住民の福祉の増進を図ることを目的とする地方自治体の目指すべき方向性と一致していることから、令和2年度に策定した「まちづくり総合計画後期基本計画」において、さまざまな分野で包括的に取組を行える自治体の強みを活かし、各施策を推進することにより、SDGsを推進することとしています。

#### (2) 内閣府「SDGs未来都市」について (参考資料1「米沢市SDGs未来都市計画(案)」参照)

- 「SDGs未来都市」は、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域が選定されるもので、2018年度(平成30年度)から開始され、毎年30程度の自治体が選定されています。その中で、特に先導的な取組を計画した事業が「自治体SDGsモデル事業」であり、毎年10事業程度が選定されています。
- 「SDGs未来都市」に選定されると、計画を実行するために有識者や各省庁からアドバイス、進捗評価のサポートなどのフォローを受けられ、SDGs達成に向けての取組をより一層強化できます。
- 令和3年度は、本市を含む31自治体が「SDGs未来都市」に選定されています。

#### (3) 環境省「地域循環共生圏」の選定について (参考資料2「地域循環共生圏事業実施計画書」参照)

- 「地域循環共生圏」は、SDGs等の国際的な流れを踏まえ、2018年(平成30年)閣議決定された第5次環境基本計画で提唱されたものです。こ

これは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し、支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方です。

- 環境省では、平成31年度から「地域循環共生圏」の創造に取り組む団体を公募しており、令和3年度は、本市を含む3自治体と17企業・団体の計20団体が選定されています。
- 今後、環境省の「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」に参加し、活動団体の課題整理・協働取組、事業発掘等の過程において助言等の支援をいただけます。

### 3 推進体制について

#### (1) 米沢市SDGs推進協議会

副市長を会長とし、本市SDGs推進の中核組織として行政、各大学、産業界、金融機関などをメンバーとする協議会を設立し、以下の事項を所掌します（[参考資料3](#)「米沢市SDGs推進協議会設置要綱」参照）。

- ① SDGsの普及啓発に関すること。
- ② 本市におけるSDGsの取組に関係する関係機関及び関係団体との情報交換及び連絡調整に関すること
- ③ その他本市におけるSDGsの推進に必要な事項に関すること。

#### (2) 米沢市SDGs推進本部

市長を本部長とし、各部等の長で組織する内部組織を設置し、以下の事項を所掌します（[参考資料4](#)「米沢市推進本部設置規程」参照）。

- ① 自治体としてSDGsの理念に基づく持続可能なまちづくりを進めるために必要な事務事業に関すること。
- ② 米沢市SDGs未来都市計画で定める事務事業の推進及び進捗管理に関すること。
- ③ 前2号に掲げるもののほか、SDGsの推進に必要な事項に関すること。

#### (3) 米沢市SDGsプラットフォーム

市内の企業、大学、金融、団体等の多様な主体が自主的に取り組む活動の情報共有を図り、また、そのような主体が連携・協力を進め、さらにSDGsの裾野を広げることを目的とし、プラットフォームを創設します。

##### ① 登録制度

プラットフォームに参加する企業・団体等を登録する制度とし、既に行われている具体事例の掘り起こしを図り、活動の見える化を進めま

す。

② 表彰制度

プラットフォームに登録した企業・団体等の中からSDGs推進の事業提案を募集し、優秀な提案を表彰します。表彰した事業を市内外に広く情報発信し、さらなる取組の活性化につなげます。

(4) 人材育成、普及・啓発について

① 庁内

市職員20名程度で、SDGs推進チームを立ち上げ、ワークショップ形式の研修等を行いながら、職員のSDGs推進意識を啓発するとともに、新たな取組を発案していきます。

② 市民

市民の方を対象としてワークショップ方式によるSDGs講座（定員40名程度2回）及び講演会を開催し、市民の方への普及・啓発を図ります。

#### 4 令和3年度のスケジュールについて（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1) SDGs推進協議会													
構成メンバーの 選定、依頼	←————→												
協議会開催				○	○		○			○			
(2) プラットフォームづくり（※令和4年度からの運用を目指す）													
登録・表彰制度 等の内容検討	←————→		←————→					←————→		○			
登録・表彰制度 の周知										←————→			
(3) 庁内													
推進チーム		ワークショップ4回開催				←————→				新たな取組の発案 -----→			
(4) 市民													
SDGs講座 の開設					←————→			期間内で2回開催予定					
SDGs講演会				←————→			期間内で1回開催予定						
議会報告	未来都市提案書説明、 推進方法説明			○			←————→		プラットフォーム 制度内容説明				
							○						



## 米沢市SDGs推進協議会について

### 1 今後の進め方について

本市が内閣府に提出している米沢市SDGs未来都市計画（案）を実行するための御意見やSDGsプラットフォーム、登録表彰制度等への御意見をそれぞれ頂戴することとしています。

スケジュールについては、以下のとおりですが、事前にお配りする意見書に御意見等を記載の上予め御提出いただくかもしくは当日御意見等を表明していただくようお願いいたします。

### 2 令和3年度スケジュールについて（予定）

推進協議会は、年4回程度の開催を予定しています。スケジュールは次のとおりです。

#### (1) 第1回推進協議会

- ① 日時 令和3年7月6日（火）
- ② 内容 委嘱状交付・推進協議会及びSDGs未来都市計画書（案）概要説明

#### (2) 第2回推進協議会

- ① 日時 令和3年8月下旬
- ② 内容 SDGs未来都市計画書（案）についての意見交換及びSDGsプラットフォーム、登録表彰制度（案）等の概要説明

#### (3) 第3回推進協議会

- ① 日時 令和3年10月
- ② 内容 米沢市SDGsプラットフォーム、登録表彰制度（案）等についての意見交換

#### (4) 第4回推進協議会

- ① 日時 令和4年1月
- ② 内容 米沢市SDGsプラットフォーム、登録表彰制度の提示ほか

